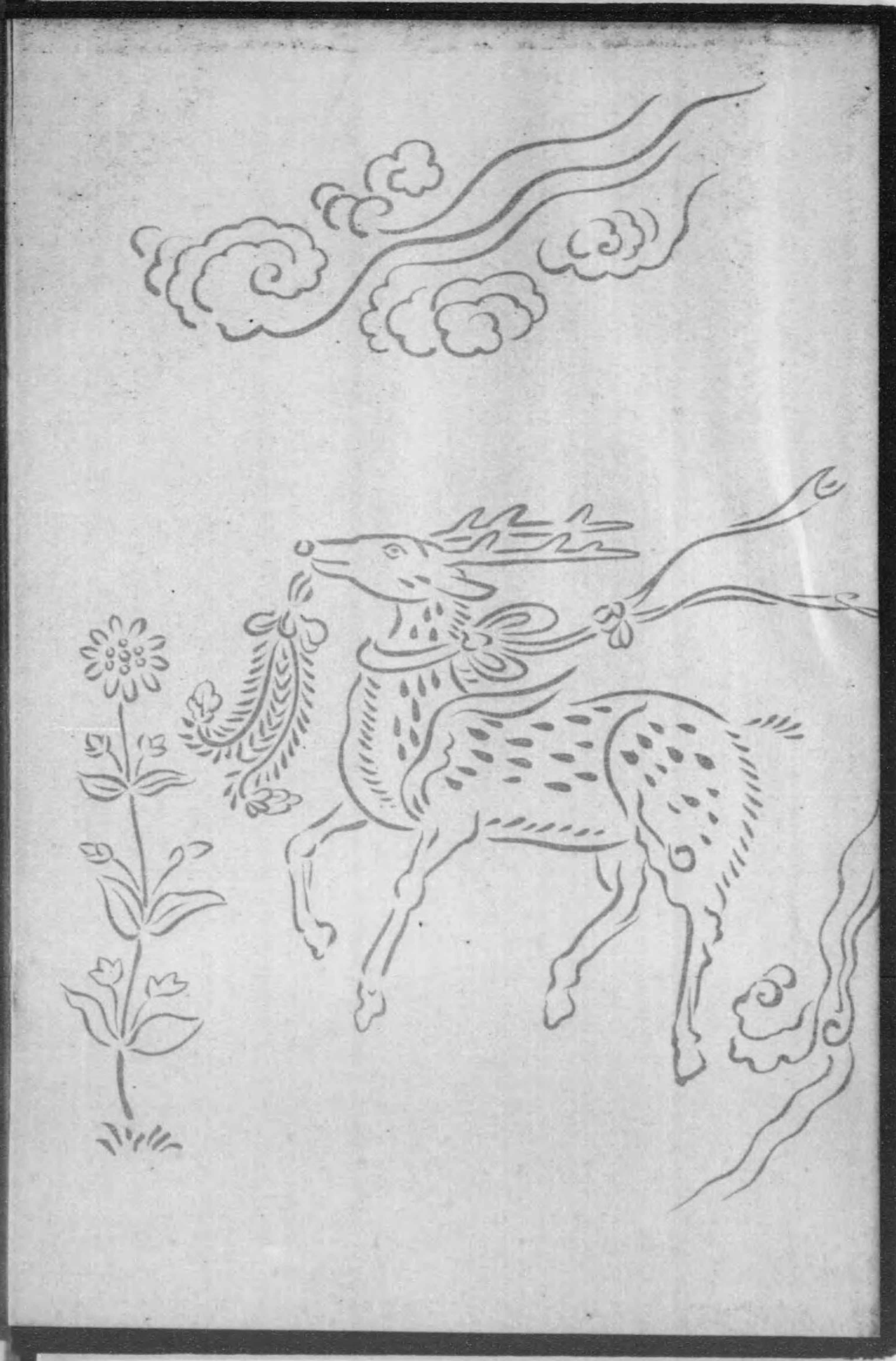
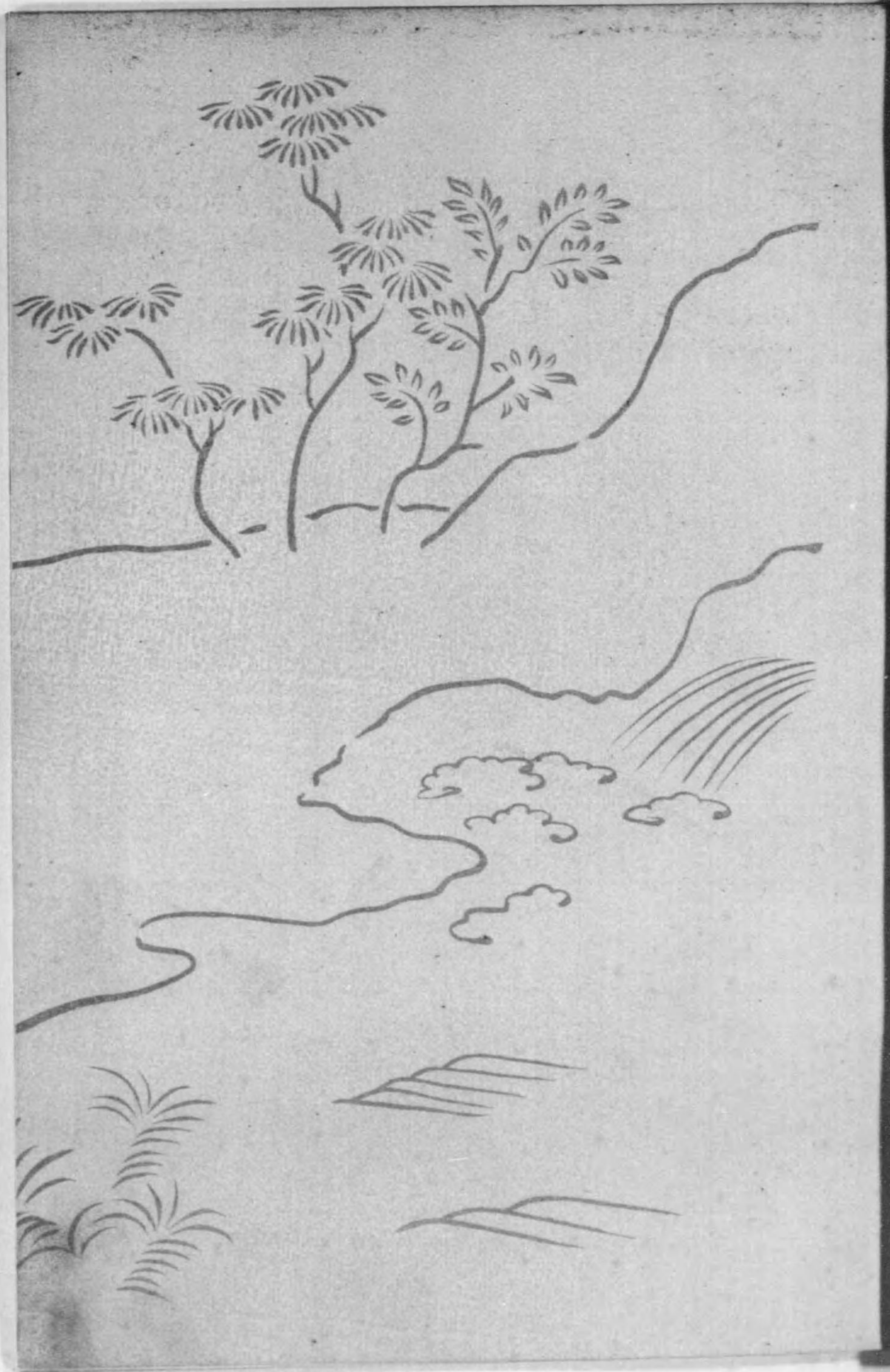


始







歷代御製集

首



歷代御製集

歴代御製集

緒言

靜に宇宙の萬物を觀るに、その本立たずしてその末榮ゆるものはあらず。草木の青々として茂り合ふは、その根あるがためにして、河水の滾滾として盡きざるは、その源あるがためなり。國家に於るもまた然り。文明といひ、開化といひ、進歩といひ、發展といふは、基礎あり、根柢ある國家に於て、初めて見るべき現象にして、立國の基礎薄弱にして、文明の根柢堅固ならざる國家にいかでか之を求め得べき。

方今世界各國、我國の進歩發展を怪みて、開國以來三四十年にして、この開化を見るは、實に一ありて二なき例とし、驚歎するもの少からず。こ

れ當然の疑問なりといへども、我が國は、彼等のいはゆる三四十年來の新國にあらず、開闢最も古く、國體の基礎太古に定り、文明の根柢は夙に養成せられたるなり。

春風一たび吹きて、百花の匂ふがごとく、秋氣一たび到りて、萬葉の赤らむがごとく、開闢以來數千年、國民が自得したりし開化の特質は、近世歐米の刺戟に依りて、一時に發展したるなり。これ短日月にして歐米の文明を咀嚼し、悠悠として、彼等と轡を並べて進みゆく所以なり。然るに我が國民の中には、是等の事に想ひ到らず、我が基礎ある國體、根柢ある文明をたどらず、外人とその口調を一にして、全く現代の國家を古代と縁なきものゝごとくに思惟し、動もすれば奇異の言説、不穩の思想を表白して、反つて得意とするものなきにあらず。此の如き輕薄の言論

は、蓋し砂上に家屋を建築するに等しく、本より永久に持續すべからずといへども、年少輕佻の輩、また或は惑はされずとも保すべからず。

是等の惑を解き、是等の思想を除かむには、根柢ある國家の發達、尊嚴なる國體の淵源を治く國民の腦裏に銘刻せしむるを以て、最も肝要の事となす。

根柢ある國家の發達、尊嚴なる國體の淵源は、畏くも太古以來の

歴代天皇の叡慮に求め奉るに如くことあらず、

歴代天皇の叡慮は、その詔勅宣命等に存すといへども、その叡慮と共に、玉音をもそのまゝに傳ふるものは、御製の外に求むべからず。試におもへ、

素戔鳴尊の御詞も、

神武天皇の御聲も、その御製を拜誦する時は、今も猶吾人の耳にひびくにあらずや。殊に我が芙蓉會は歌道研究の會たるが故に、會員中より委員を定めて、こゝに歴代御製集を謹撰し、以て根柢ある國家の發達、尊嚴なる國體の淵源をこれに求め、汎く之を拜誦せしめて、我が道義、我が文明の由來することを感得せしめむとす。これ實に無上の教典なり。且や御製は、此の如き一大教典たるに拘らず、古來之を統一して、編成せしものなく、たゞ何々天皇御集、何々院御集など唱ふるものゝ外は、多くは諸書に散見せるのみにして、吾人臣民が、順を逐うて拜誦せむとするも、不可能の事に屬するが故に、敢てこの編成を企てたり。凡そ天地間に國を成せるものにして、その主權者の詩歌等を、この集の如き形の下に編纂して三千頁以上に渉れるものありや。支那の如き

は夙に文學發達せる國と雖も、古來帝王の詩集、かくのごときものあらむや。況や我が國は

皇統一系連綿として、歴代かゝる多くの御製をのこしたまへること、實に天地間に一ありて二なき寶典なり。今や稿成れるに、たま／＼今上天皇の御即位大嘗の大禮を舉行したまはむとする千載一遇の秋に遭遇せり。故に本會は先づ之を

畏き邊に献上し、而して、後本年の記念として、之を一般國民に頒ち、相俱にこの世界無類の

御製集を拜誦する榮を荷はむとす。蓋し悉く之を拜誦するに至らば、初めて我が國體の淵源、我が文明の根柢あることを感得し、將來の國家に處する上に於て、大に裨益するところあらむ。

附言、芙蓉會は、明治四十三年の夏、田中光顯伯爵の同意を得て、村上義雄、阪正臣、池邊義象、千葉胤明、武島羽衣、加藤義清、金子元臣の八名にて組織せし歌道研究の一團なり。爾來毎月集會し、兼題或は當座の歌を互に批評し考究し、年を重ねたりしに、後、高島張輔入會し、一昨年未に至りて、子爵入江爲守、近藤久敬、鎌田正夫、大口鯛二、遠山英一及び岡山高蔭等の人々入會することとなり、今は前後通じて十五名の會團となれるものなり。

大正四年五月

凡例

- 一、本集は歴代天皇の御製を蒐集編纂したるものなり。故に、天皇及び院號ある御方と雖も、歴代の中に加へられざるものは之を採らず。例へば田原天皇基、崇道天皇聖或は小一條院明、後高倉院時を加へざるが如き是なり。
- 一、本集には、別巻として、神代諸神御歌集一卷を卷頭に附したり。これ歌道の淵源を示さむためなり。
- 一、神代諸神御歌、及び神武天皇より嵯峨天皇に至るまでの御製にして、日本紀、古事記、萬葉集、日本逸史等より採りたるものは、總て原本の體裁に據りて之を載録し、其の左側に平假名を以て記し、之に漢字を註して、緋

讀に便したり。

一、編纂の方針は、總て原本の面目を存するに力めたりと雖も、其の原本にして、年次の前後錯雜せるが如き、其の他杜撰疎漏なりと認めたるものは、悉く之を訂したり。

一、編纂の順序は、御集の類あるものは、之を先にし、次に勅撰集、次に勅撰以外の歌集、次に史籍、物語の類、次に宸翰等より抄録したるものを掲げたり。例へば、後鳥羽天皇の條に於ける、後鳥羽院御集、後鳥羽院御百首、元久詩歌合、遠鳥御歌合、新古今集、續後撰集、續古今集、續拾遺集、新後撰集、玉葉集、續千載集、續後拾遺集、風雅集、新千載集、新拾遺集、新後拾遺集、雲葉集、夫木抄、承久兵亂記、増鏡、六代勝事記、後鳥羽院熊野御幸記、御宸翰懷紙の順序を以て採録したるが如き是なり。

但し嵯峨天皇以前のもものは、必ずしも、此の例に拘らず、體裁上、眞字を先にし、假名を後とやうにしたり。

一、勅撰集及び其の他の歌集より抄録したるもの、掲載順序は、例へば、春、夏、秋、冬、賀、離別、羈旅、物名、戀、哀傷、雜、雜體、或は、春、夏、秋、冬、離別、羈旅、神祇、釋教、戀、雜、哀傷、賀の如く、各其の集の組織に従ひて採録し、其の部門の中に於て、例へば、春の歌の中に」とありて、同題にて前後にあるものは、總て之を一題の條下に集め、又詞書ありて、年次の明かなるものは、必ず年序を追ひて輯録したり。

一、同一の御製にして、數本に見えたるものは、其の重複を避けむが爲に、前に一旦出でたるものは、後に再び出づとも之を省くことゝしたり。

一、同名の書にして、異本數種ありて、而も彼にのみありて、此に無く、此にの

みありて、彼に無き等の場合には、其の中に最も善本なりと認めたるものを以て底本となし、足らざるものは、上下に〔〕の印を附して異本より補ひ、猶一々頭註に其の旨を記したり。例へば、後水尾院御集の如き、其の最も著しき例なり。

一、原本に蠹蝕、其の他脱字、誤寫等ありて、之を校讐補訂すべき善本を得ざるものは、已むを得ず□の印を以て其の不明の字數を補填したり。

一、假名遣は、總て正しきに據り、其の誤りたるものは、盡く之を訂したり。

一、本集の編纂上梓につきては、能ふべき限り誤謬なからむことを期し、同一の書と雖も、獲らるゝ限り異本を集め、周到嚴密なる校訂を行ひたれば、底本の歌にして、全然傳寫の謬なりと認めたるものは、之を訂し、猶疑はしきものは、其の右側に、又三様に異なりたるものある場合は、其の左

右兩側に小字を以て、異本の字句を註し、其の下に必ず「イ」字を記せり。

一、同一の御製にして、他本には辭句を異にし、或は題を異にして出でたるものは、盡く之を頭註に掲げたり。

一、史籍及び物語の類より採録したる御製の詞書は、力めて其の原本の文體を採り、其の足らざる處のみを擬作して補ひたり。

一、贈答にして、其の答の御製なる場合には、其の贈の歌は、之を詞書の中に書き入れ、又、其の贈の御製なる場合には、答の歌は、之を省きたり。

一、原の御製ありて、後人の之に加筆して世に傳はりたるもの、例へば、持統天皇の「春過而」の御製の如きは、原の御製を掲げ、其の側に「按」の印を附して、訛傳したるものを掲げたり。

一、世に御製として傳へられながら、疑はしきもの、例へば、天智天皇の「秋の

田の御製の如き、亦按の印を附して之を掲げ、其の御製と認め難きことを註したり。

一、同一の御製にして、二本各其の作者を異にして傳へられたるもの、例へば、さほ過ぎて奈良の手向に置く幣は妹にあひ見むしるしとてなりを、奈良御集には、平城天皇の御製となし、新千載集には、聖武天皇の御製としたる如き類は、重出の嫌なきにあらざれども、姑く兩天皇の各條下に掲げて、頭註に其の理由を記せり。

一、採録の書名は、必ず各其の終に小字を以て註せり。然して、歌集の名の普通略稱を以て稱へらるゝものは、總て略稱に従ひたり。例へば、萬葉和歌集、古今和歌集を、萬葉集、古今集、又、夫木和歌抄を、夫木抄と註したるが如し。

但し日本紀、古事記の類を頭註に記す場合は、紀記とのみ記せり。

一、後鳥羽院御集を、一に元暦御集と稱し、順徳院御集を、一に紫禁和歌草と稱する如きは、一々之を註せず。左記の引用書表に依りて見るべし。

一、本集は芙蓉會の一事業として、會員中に編纂主任を定め、前後滿三年の日子を費して大成したるものなり。その材料の蒐集については、出來得る限り宏く諸書を涉獵して、先づ本會藏本を編成し、その上にて宮内省圖書寮本、及び帝國圖書館本、其の他、舊家祕藏本等を参考採録せり。其の材料及び參考資料の大概を示せば左の如し。

御集の類

- 奈良御集
- 仁和御集
- 亭子院御集
- 寛平御集
- 後鳥羽院御集(二名、元暦御集)

土御門院御集 順德院御集(二名、紫禁和歌草)

龜山院御集 伏見院御詠草 後伏見院御集

愚 藻(二名、後二條院御集) 花園院御集

光嚴院御集 柏玉集 後水尾院御集

仙洞御製集 靈元院御集 桃葉御集

靈元院天皇御製 櫻町院御集 當今御製

仙洞御製

御百首の類

久安六年御百首 後鳥羽院御百首 土御門院御百首

寶治御百首 順德院御百首 元久白河殿七百首

元亨三年龜山殿七百首 伏見院御百首 後光嚴院御百首

後小松院御百首 御花園院御百首 永享九年住吉社奉納百首

永享十年石清水社奉納百首 永享十三年松尾社御法樂百首 後土御門院御百首

玉津島法樂假名題目百首和歌 文明九年石清水法樂百首 文明九年日吉社法樂百首

明應四年水無瀬宮法樂百首 明應四年住吉社御法樂和歌 後柏原院御百首

永正十年後柏原院御着到 後柏原院御日次結題 大永二年御會戀五十首

後奈良院御百首 天文十二年大神宮御法樂千首 正親町院御百首

慶長千首和歌 公宴御着到百首和歌 公宴御着到和歌

歌合の類

新時代不同歌合 天德歌合 康保三年内裏歌合

遠島御歌合 元久詩歌合 月卿雲客妬歌合

百番歌合 貞永元年八月十五夜歌合 建長三年九月十三夜影供歌合

拾遺抄 和歌一字抄 秋風抄
 長秋詠藻 山家集 公宴御會拔書自慶長至延享
 公宴御會和歌自寛文至延寶 公宴御會和歌自享保至寛延 公宴御會和歌自寛政至文化
 公宴御會和歌自寛延至寶曆 公宴御會和歌嘉永以後 公宴御會和歌拔書明和三年
 公宴月次御會和歌

史籍及び物語の類其の他

日本紀 古事記 續日本紀
 日本逸史 大鏡 今鏡
 増鏡 榮花物語 多田五代記
 古事談 保元物語 平治物語
 平家物語 平家物語長門本 源平盛衰記

承久兵亂記 軍物語 六代勝事記

後鳥羽院熊野御幸記 日吉社並叡山行幸記 北山行幸記

室町殿行幸記 聚樂行幸記 後花園院御消息

池の藻屑 見聞隨筆 太平記

百人一首 新百人一首 新三十六人撰

現存和歌六帖 十訓抄 白峰寺縁起

昭慶門院御屏風押色紙和歌 大永六年内裏御屏風上帖 孝明天皇紀

維新前後史料

右の外零碎斷篇と雖も、涉獵し獲たるものは、盡く之を参考したれども今一々に擧げず。

一、本集は、最初涉獵し得たる材料の全部を、一も漏らすことなく採録する

豫定なりしも、出版上、紙数の都合に依りて、已むを得ず、其の幾分を漏せり。即ち左の如し。

後柏原天皇の御製にして、結題を集めたる、後柏原院御百首の、世に傳はれるものは、皆稿本の類にして、餘分の御製を載するもの頗る多きを以て、徒に浩瀚ならむことを避けむが爲に、餘分の御製のみを漏らせり。靈元天皇の御製は、歌數に於て、桃葉御集最も勝れりと雖も、餘り浩瀚に過ぎたるを以て、靈元院御集を採り、題詠以外のものゝみは、桃葉御集より採録したり。これ靈元院御集は、桃葉御集より秀歌を抜粹編輯したる迹見ゆればなり。

光格天皇の御製も、公宴御會和歌の中より、年々の和歌御會始、及び月次御會の御製のみを採りて、御法樂の分は之を漏らせり。

又、櫻町天皇の御製は、専ら櫻町院御集を採り、孝明天皇のは、孝明天皇紀に所載のものを採り、公宴御會和歌は、其の参考資料とせる類なり。

一、明治天皇の御製は、最も周到綿密なる用意の下に、宮内當路の人の手に依りて、世に傳へられたるものゝ謬を訂したり。されば本集に採録したるものにして、世の傳と辭句の異なるものあるは、實に之が爲なり。

一、左に表を以て本集に採録したる御製の數と引用書籍の大體とを示さむ。

天皇(神名)	歌數	引用書名
素戔鳴尊	一首	日本紀、古事記
八千矛神	二首	古事記
沼河日賣	一首	古事記

須勢理毘賣命	下照媛	皇孫尊	豐玉姬命	神武天皇	綏靖天皇	安寧天皇	懿德天皇	孝昭天皇	孝安天皇	孝靈天皇	孝元天皇
一首	二首	二首	一首	八首							
古事記	日本紀古事記	日本紀古事記	日本紀古事記	日本紀古事記							

開化天皇	崇神天皇	垂仁天皇	景行天皇	成務天皇	仲哀天皇	應神天皇	仁德天皇	履中天皇	反正天皇	允恭天皇	安康天皇
一首	一首		一首			七首	十八首	三首		二首	一首
日本紀			日本紀古事記			日本紀古事記	日本紀古事記新古今集	日本紀古事記		日本紀續古今集	日本紀

雄略天皇	清寧天皇	顯宗天皇	仁賢天皇	武烈天皇	繼體天皇	安閑天皇	宣化天皇	欽明天皇	敏達天皇	用明天皇	崇峻天皇
十一首		三首		四首							
日本紀古事記、萬葉集		日本紀古事記		日本紀古事記							

推古天皇	舒明天皇	皇極天皇	孝德天皇	齊明天皇	天智天皇	弘文天皇	天武天皇	持統天皇	文武天皇	元明天皇	元正天皇
一首	二首		一首	十首	六首		五首	五首		三首	五首
日本紀	萬葉集		日本紀	日本紀、萬葉集、續古今集	日本紀、萬葉集、古今集、後撰集、新古今集、新千載集		萬葉集	萬葉集、新古今集、新勅撰集		萬葉集	萬葉集

聖武天皇	十八首	續日本紀、萬葉集、續後撰集、續古今集、新千載集、新後拾遺集、新勅撰集、萬代集
孝謙天皇	四首	萬葉集
淳仁天皇		
稱德天皇		
光仁天皇		
桓武天皇	五首	日本逸史
平城天皇	二十五首	奈良御集、古今集、新千載集、續拾遺集、續古今集、新後拾遺集、萬代集、日本逸史、增鏡、新百人一首
嵯峨天皇	二首	日本逸史、續拾遺集
淳和天皇		
仁明天皇	一首	新拾遺集
文德天皇		
清和天皇		

陽成天皇	一首	後撰集、二八要抄
光孝天皇	十六首	仁和御集、古今集、新古今集、新勅撰集、續後撰集、續古今集、風雅集、夫木抄、續後拾遺集
宇多天皇	二十七首	寬平御集、享子院御集、古今集、續古今集、新拾遺集、萬代集、新千載集、續後撰集、後撰集、夫木抄
醍醐天皇	四十三首	後撰集、拾遺集、新古今集、新勅撰集、續後撰集、續古今集、玉葉集、續後拾遺集、新千載集、新後拾遺集、新續古今集、萬代集、夫木抄、新拾遺集、二八要抄
朱雀天皇	八首	後撰集、新古今集、玉葉集、續後拾遺集、新千載集、新續古今集、夫木抄、大鏡
村上天皇	六十八首	後撰集、拾遺集、新古今集、新勅撰集、續後撰集、續古今集、玉葉集、續後拾遺集、新千載集、新後拾遺集、新續古今集、萬代集、夫木抄、天德四年內裏歌合、康保三年內裏歌合、榮花物語、拾遺抄、金玉集、大鏡、新時代不同歌合
冷泉天皇	四首	詞花集、新古今集、新千載集、新續古今集
圓融天皇	二十六首	拾遺集、詞花集、新古今集、新勅撰集、續後撰集、續古今集、續拾遺集、玉葉集、續千載集、續後拾遺集、新千載集、新後拾遺集、新續古今集、新續古今集、萬代集、夫木抄、集、夫木抄
華山天皇	百九首	後拾遺集、詞花集、千載集、新古今集、續古今集、續拾遺集、玉葉集、續千載集、續後拾遺集、風雅集、新千載集、新後拾遺集、新續古今集、新續古今集、萬代集、夫木抄、續詞花集、雲葉集、榮花物語、多田五代記、金玉集、金葉集、奏覽本、玄々集
一條天皇	九首	後拾遺集、詞花集、新古今集、續古今集、新千載集、榮花物語、新時代不同歌合

三條天皇	後一條天皇	後朱雀天皇	後冷泉天皇	後三條天皇	白河天皇	堀河天皇	鳥羽天皇	崇德天皇	近衛天皇	
十三首	十首	七首	七首	七首	三十一首	九首	八首	百六十四首	十首	
後拾遺集詞花集新古今集新千載集新拾遺集雲葉集榮花物語萬代集今鏡新時代不同歌合	後拾遺集新古今集續古今集新千載集榮花物語大鏡	後拾遺集金葉集同初度本新古今集玉葉集詞花集萬代集榮花物語	後拾遺集新古今集續古今集玉葉集榮花物語今鏡古事談	後拾遺集新古今集續古今集玉葉集榮花物語今鏡古事談	後拾遺集金葉集同初度本詞花集千載集新古今集續古今集新後撰集玉葉集續千載集續後拾遺集風雅集新千載集新後拾遺集續詞花集平家物語同長門本源平盛哀記和歌一字抄新時代不同歌合雲葉集夫木抄萬代集	金葉集同初度本同奏覽本千載集新古今集續後撰集續古今集續詞花集萬代集	金葉集千載集新古今集續千載集續後拾遺集續詞花集後葉集月詣集	久安六年御百首詞花集千載集新古今集續後撰集續古今集續拾遺集玉葉集風雅集新拾遺集新續古今集續詞花集後葉集今撰集拾遺風體集和歌一字抄長秋詠藻今鏡保元物語白峰寺緣起源平盛哀記平家物語長門本十訓抄玄玉集夫木抄雲葉集新勅撰集新後拾遺集續千載集萬代集山家集	千載集新古今集續古今集玉葉集續千載集續詞花集後葉集萬代集	千載集新古今集續古今集玉葉集新千載集平治物語源平盛衰記後葉集月詣集夫木抄

後白河天皇	二條天皇	六條天皇	高倉天皇	安德天皇	後鳥羽天皇	土御門天皇	順德天皇	仲恭天皇
十六首	二十三首	五首	五首	五首	二千三十五首	五百五十七首	一千三百九十五首	十首
千載集新古今集續古今集玉葉集新千載集平治物語源平盛衰記後葉集月詣集夫木抄	千載集玉葉集續後拾遺集風雅集新千載集新拾遺集新後拾遺集夫木抄續詞花集今撰集月詣集	新古今集續後拾遺集	新古今集續後拾遺集	新古今集續後拾遺集	後鳥羽院御集後鳥羽院御百首元久詩歌合遠島御歌合新古今集續後撰集續古今集續拾遺集新後撰集玉葉集續千載集續後拾遺集風雅集新千載集新拾遺集新後拾遺集雲葉集夫木抄承久兵亂記增竹六代勝事記後鳥羽院熊野御幸記辰輪懷紙萬代集新三十六人撰軍物語	土御門院御集土御門院御百首續古今集續拾遺集新續古今集承久兵亂記續後撰集續千載集夫木抄萬代集雲葉集新千載集新後撰集新後拾遺集玉葉集續後拾遺集新拾遺集拾遺風體集新三十六人撰	順德院御集順德院御百首續古今集續拾遺集新後撰集玉葉集續千載集續後拾遺集風雅集新拾遺集夫木抄藏玉集新三十六人撰承久兵亂記增鏡新千載集拾遺風體集萬代集和歌合後拾遺集新續古今集新後拾遺集百首歌合百番歌合雲葉集續後撰集	仲恭天皇

後堀河天皇	九首	貞永三年八月十五夜歌合、新勅撰集、夫木抄、
四條天皇		
後嵯峨天皇	三百三十四首	寶治御百首、寶治二年院御歌合、建長三年影供歌合、白河殿七百首、 文永二年八月十五夜歌合、龜山殿五百御歌合、續後撰集、續古今集、 續拾遺集、續後拾遺集、新後撰集、玉葉集、續千載集、風雅集、新千載集、 新拾遺集、新後拾遺集、新續古今集、夫木抄、雲葉集、秋風抄、現存和歌 六帖、拾遺風體集、新三十六人撰、增鏡、新時代不同歌合、
後深草天皇	三首	玉葉集增鏡、
龜山天皇	四百六首	龜山院御集、續古今集、續拾遺集、新後撰集、玉葉集、續千載集、續後拾 遺集、風雅集、新千載集、新拾遺集、新後拾遺集、新續古今集、夫木抄、藤 葉集、增鏡、日吉社並觀山行幸記、昭慶門院御屏風押色紙和歌、
後宇多天皇	二百五十七首	龜山殿七百首、新後撰集、玉葉集、續千載集、續後拾遺集、風雅集、新千 載集、新拾遺集、新後拾遺集、新續古今集、續現葉集、藤葉集、增鏡、二八 要抄、昭慶門院御屏風押色紙和歌、
伏見天皇	六百五十九首	伏見院御歌合、伏見院御百首、三十番歌合、永仁五年當座歌合、正安 元年五種歌合、仙洞五十番歌合、乾元二年歌合、嘉元三年歌合、金玉 歌合、新後撰集、玉葉集、續千載集、續後拾遺集、風雅集、新千載集、新拾 遺集、新後拾遺集、新續古今集、藤葉集、增鏡、日吉社並觀山行幸記、
後伏見天皇	二百二十首	後伏見院御製仙洞五十番歌合、乾元二年歌合、嘉元三年歌合、新後 撰集、玉葉集、續千載集、續後拾遺集、風雅集、新千載集、新拾遺集、新後 拾遺集、新續古今集、臨永集、藤葉集、增鏡、續現葉集、
後二條天皇	二百九十四首	恩藻、正安四年當座歌合、新後撰集、玉葉集、續千載集、續後拾遺集、風 雅集、新千載集、新拾遺集、新後拾遺集、新續古今集、藤葉集、萬代集、

花園天皇	三百二十五首	花園院御集、風雅集、新千載集、新後拾遺集、臨永集、藤葉集、新續古今 集、玉葉集、續千載集、新拾遺集、
後醍醐天皇	百八十一首	新後撰集、續千載集、續後拾遺集、風雅集、新千載集、新拾遺集、新後拾 遺集、新葉集、臨永集、藤葉集、增鏡、太平記、
後村上天皇	九十九首	新葉集、太平記、
長慶天皇		
後龜山天皇	九十九首	五百番歌合、新續古今集、新葉集、
光嚴天皇	二百三十六首	光嚴院御集、風雅集、新千載集、新後拾遺集、新續古今集、藤葉集、太平 記、宸翰懷紙、
光明天皇	二十六首	風雅集、新拾遺集、
崇光天皇	三十九首	新千載集、新拾遺集、新後拾遺集、新續古今集、菊葉集、
後光嚴天皇	百十七首	後光嚴院御百首、新千載集、新拾遺集、新後拾遺集、新續古今集、
後圓融天皇	十六首	新後拾遺集、新續古今集、
後小松天皇	百四十八首	後小松院御百首、內裏九十番御歌合、新續古今集、菊葉集、北山殿行 幸記、池の藻屑、
稱光天皇		

後花園天皇	二百二十七首	後花園院御百首、住吉社奉納百首、石清水社奉納百首、松尾社御法樂百首、仙洞歌合、内裏歌合、新續古今集、後花園院御消息室町殿行幸記。
後土御門天皇	二百五十一首	後土御門院御百首、後柏原院御百首、玉津島法樂假名題目百首和歌、七首歌合、石清水法樂百首、日吉社法樂百首、文明十四年詩歌合、文明十五年詩歌合、文明年中應製詩歌、水無瀨宮法樂百首、住吉社御法樂和歌、池の藻屑。
後柏原天皇	二千二百三十二首	柏玉集、後柏原院御百首、後柏原院御着到、後柏原院御日次結題、文明十四年詩歌合、文明十五年詩歌合、三十番歌合、大永二年御會戀五十首、内裏御屏風上帖、池の藻屑。
後奈良天皇	二百十首	後奈良院御百首、大神宮御法樂千首、池の藻屑。
正親町天皇	百二首	正親町院御百首、聚樂行幸記。
後陽成天皇	七十九首	後陽成院御歌合、禁裏御會千首和歌、聚樂行幸記。
後水尾天皇	一千四百九十三首	後水尾院御集、仙洞御製集。
明正天皇		
後光明天皇		
後西院天皇	二十四首	新院御會始並月次御會、後水尾院御集。
靈元天皇	三千八百四十二首	靈元院御集、桃葉御集、靈元院天皇御製、公宴御會和歌。

東山天皇	十一首	公宴月次御會和歌。
中御門天皇	五首	桃葉御集。
櫻町天皇	五百三十五首	櫻町院御集、見聞隨筆。
桃園天皇	百首	公宴御着到百首和歌。
後櫻町天皇	九首	明和三年公宴御會拔書、見聞隨筆。
後桃園天皇	三首	見聞隨筆。
光格天皇	四百四十一首	公宴御會和歌。
仁孝天皇	五十首	當今御製仙洞御製。
孝明天皇	二百三十一首	孝明天皇紀、公宴御會和歌、維新前後史料。
明治天皇	六百二十首	

歷代御製集總目次

神代諸神御歌



素戔鳴尊

.....一

八千矛神

.....一

沼河日賣

.....三

八千矛神

.....五

須勢理毘賣命

.....八

下照媛

.....九

皇孫尊

.....十一

彥火火出見尊

.....十二

豐玉姬命……………十二

卷一

神武天皇……………十五

崇神天皇……………二十

景行天皇……………二十

應神天皇……………二十一

仁德天皇……………二十八

履中天皇……………三十八

允恭天皇……………四十

安康天皇……………四十一

雄略天皇……………四十二

顯宗天皇……………五十一

武烈天皇……………五十三

推古天皇……………五十六

舒明天皇……………五十六

孝德天皇……………五十七

齊明天皇……………五十八

天智天皇……………六十二

天武天皇……………六十六

持統天皇……………六十八

元明天皇……………七十一

元正天皇……………七十二

聖武天皇……………七十四

孝謙天皇……………八十一

淳仁天皇……………八十三

卷 一

桓武天皇……………八十五

平城天皇……………八十七

嵯峨天皇……………九十一

仁明天皇……………九十二

陽成天皇……………九十三

光孝天皇……………九十三

宇多天皇……………九十六

醍醐天皇……………百三

朱雀天皇……………百十四

村上天皇……………百十七

冷泉天皇……………百三十六

圓融天皇……………百三十七

華山天皇……………百四十七

一條天皇……………百七十二

三條天皇……………百七十六

後朱雀天皇……………百七十九

後冷泉天皇……………百八十三

後三條天皇……………百八十六

白河天皇……………百八十九

堀河天皇……………百九十八

鳥羽天皇……………二百一

崇德天皇……………二百四

近衛天皇……………二百三十五

後白河天皇……………二百三十八

二條天皇……………二百四十二

高倉天皇……………二百四十九

卷三

後鳥羽天皇上……………二百五十一

卷四

後鳥羽天皇下……………二百九十七

卷五

土御門天皇……………一

卷六

順德天皇上……………百十七

卷七

順德天皇下……………二百五十五

卷八

後堀河天皇……………三百七十五

後嵯峨天皇……………三百七十七

後深草天皇……………四百四十六

龜山天皇……………四百四十七

卷九

後宇多天皇……………一

伏見天皇……………五十三

卷十

後伏見天皇……………百五十五

後二條天皇……………百九十三

花園天皇……………二百四十七

卷十一

後醍醐天皇……………三百一

後村上天皇……………三百四十三

後龜山天皇……………三百六十二

光嚴天皇……………三百八十二

卷十二

光明天皇……………四百二十三

崇光天皇……………四百二十八

後光嚴天皇……………四百三十六

後圓融天皇……………四百五十八

後小松天皇……………四百六十一

後花園天皇……………四百九十三

後土御門天皇……………五百十八

卷十三

後柏原天皇一.....一

卷十四

後柏原天皇二.....百二十三

卷十五

後柏原天皇三.....二百二十一

卷十六

後奈良天皇.....四百四十七

正親町天皇.....四百八十七

後陽成天皇.....五百六

卷十七

後水尾天皇上.....一

卷十八

後水尾天皇下.....百十七

後西院天皇.....二百二十二

卷十九

靈元天皇一.....二百二十九

卷二十

靈元天皇二.....二百六十七

卷二十一

靈元天皇三.....一

卷二十二

靈元天皇四.....百四十一

卷一十三

東山天皇……………二百八十三
 中御門天皇……………二百八十六
 櫻町天皇……………二百八十七
 桃園天皇……………四百十三
 後櫻町天皇……………四百三十一
 後桃園天皇……………四百三十四
 光格天皇……………四百三十五
 仁孝天皇……………五百三十八
 孝明天皇……………五百四十七
 卷一十四
 明治天皇……………六百五

索引

此の索引は、春夏秋冬等の御製は巻を開けば一目瞭然たるに
 より、之を略して、修身教育等の方より、左の部類即ち

- 神祇 國體 君臣 父子 夫婦 兄弟 朋友 文
 武 釋教 述懷

の十一項に分ち、御製の内容により、是等のものを速に引出し
 得るやうに編成したり。さて述懷の部の中には、必ずしも其
 の歌題に拘らず、修身教育等の趣旨にかなへるものにして、他
 の何れの部にも入らざるは、皆この部に收めたり。

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

四 四 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

五二二 四九一 三〇五 三〇五 三〇四 三〇四 三〇四 二九五 二九五 二九五 二九四 二七六

五 九 二 一 一 〇 九 四 三 二 一 一 五

神祇

同	同	同	同	後	二	後	同	崇	華	天
				鳥	條	白		德	山	皇
				羽	天	河		天	天	
				天	皇	天		皇	皇	
				皇	皇	皇		皇	皇	

三 三 三 三 三 二 二 二 二 二

二七六 二七六 二七六 二七六 二六三 二四六 二四一 二二二 二二二 一五四

四 三 二 一 四 〇 八 二 一 三

同 同 同 同 同 同 同 後 同 同 同 同 同

字
多
天
皇

九 九 九 九 九 九 九 九 八 八 八 八 八

三九 二九 二九 二九 二〇 二〇 二〇 一八 五〇 五〇 五〇 四七 四五

八 一 〇 六 九 八 六 八 一 六 四 一 一

同 同 同 龜 後 同 同 同 同 同 後 同 順

山 深 嗟 德
天 草 峨 天
皇 天 皇 皇 皇

八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 六 六

四五七 四五六 四五六 四五六 四四六 四三六 四二九 四二九 四二九 四二〇 四二〇 一八四 一八四

一 一 〇 九 三 六 七 五 四 四 一 九 八

同	同	同	同	光	同	後	同	同	後	同	同	後
				嚴		龜			村			醍
				天		山			上			醐
				皇		天			天			天
						皇			皇			皇
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
四二二	四二二	四二二	四二二	四二二	三七四	三七四	三五二	三五二	三五二	三三二	三三二	三〇九
七	六	五	六	四	七	五	八	六	三	二	一	五

同	同	花	同	同	後	同	同	後	同	同	伏	同
		園			二			伏			見	
		天			條			見			天	
		皇			天			天			皇	
					皇			皇				
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	九	九	九
二九四	二八三	二八三	二四一	二二九	二二九	一九〇	一八四	一六八	一五二	一四六	一〇二	五一
五	一	〇	九	六	五	四	一	六	〇	八	一	三

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

一五 一五 一五 一五 一五 一四 一四 一四 一四 一四 一四 一四

三〇七 三〇七 三〇六 三〇六 三〇六 二三九 二二四 二二四 二二四 二二四 二二四 二二四 二二三

四 二 一 九 七 二 一 九 七 五 三 二 一

同 同 後 同 同 後 後 後 崇 同 同 同 同

柏 土 花 小 光
原 御 園 松 天
天 門 天 天 天
皇 天 皇 皇 皇

一四 一四 一四 一三 一三 一三 一三 一三 一三 一二 一二 一二 一二

二二三 二二三 二二三 五六二 五六〇 五五五 五二二 四八〇 四二八 四二一 四二一 四二一 四二一

九 七 五 八 六 六 二 四 七 一 〇 九 八

同 同 同 同 同

二四 二四 二四 二四 二四

六八八 六八四 六八四 六八四 六八四

一〇 四 三 二 一

同 同 同 明 孝 同 同 同 同 櫻 同 同 同

治 明

町

天 天

天

皇 皇

皇

二四 二四 二四 二四 二三 二三 二三 二三 二三 二三 二三 二三

六八三 六八三 六八三 六八三 六〇〇 四〇八 四〇八 四〇八 四〇八 四〇八 二二一 二二一 二二一

二 一〇 九 八 九 一 九 七 五 三 七 五 四

國體

天	聖	同	同	孝	二	天
皇	武	天	天	謙	條	皇
卷	皇	皇	皇	皇	皇	皇
頁	七九	七九	八〇	八一	二四五	二四五
行	四	九	三	二	四	四

君臣

天	推	元	同	聖	同	朱	三	後	同	後
皇	古	正	武	天	雀	條	鳥	水	尾	天
皇	皇	皇	皇	皇	皇	皇	皇	皇	皇	皇
卷	一	一	一	一	一	二	二	四	四	一八
頁	五六	七二	七三	七五	七七	一一五	一七六	五二〇	五二〇	二〇五
行	三	八	二	一	三	四	五	九	〇	四

天	皇	卷	頁	行
齊	皇	一	五八	一
同	皇	一	五九	一
同	皇	一	六〇	一
同	皇	一	六〇	一
同	皇	一	六一	一
醍	皇	二	一一〇	一
同	皇	二	一一一	一
華	皇	二	一四七	一
同	皇	二	一七二	三

父子

明

治

天

皇

二四 二四 二四 二四 二四

六六三 六六三 六六三 六六三 六七二

三 四 五 六 七

同 同 同 同 同 同 同 同 同

二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四

六六五 六六五 六六五 六六五 六六四 六六四 六六四 六六四 六六四

五 四 三 二 一 〇 九 八 七

同	明	後	後	同	龜	同	順	同	後	崇	三	一
	治	水	伏		山		德		鳥	德	條	條
	天	尾	見		天		天		羽	天	天	天
	皇	天	天		皇		皇		天	皇	皇	皇

二四 二四 一八 一〇 八 八 七 七 四 四 二 二 二

六六四 六六四 二〇五 一九二 五〇五 五〇五 三六九 三六九 五一〇 五一〇 二二七 一七六 一七四

六 五 六 九 六 四 〇 八 五 四 一 〇 一

夫婦

齊	同	同	同	仁	神	豐	彥	須	素	天皇(諸神)
明				德	武	玉	火	勢	棧	
天				天	天	姬	出	理	鳴	
皇				皇	皇	命	見	昆	尊	
						神	神	神	神	
						代	代	代	代	卷
										頁
										行

齊 同 同 同 仁 神 豐 彥 須 素
 明 德 武 玉 火 勢 棧
 天 天 天 姬 出 理 鳴
 皇 皇 皇 命 見 昆 尊

神 神 神 神
 代 代 代 代

— — — — —

六一 三六 三五 三四 三四 一九 一二 一二 八 一

七 四 九 八 三 九 九 一 一 一

後	同	後	一	同	圓	同	同	同	村	同	同	持
鳥		朱	條		融				上			統
羽		雀	天		天				天			天
天		天	皇		皇				皇			皇
皇		皇	皇		皇				皇			皇

後 同 後 一 同 圓 同 同 同 村 同 同 持
 鳥 朱 條 融 上 統
 羽 雀 天 天 天 天 天
 天 天 皇 皇 皇 皇 皇 皇

四 二 二 二 二 二 二 二 二 一 一 一

五〇九 一八〇 一八〇 一七三 一四二 一三八 一三一 一三三 一三三 一三三 六九 六九 六八

五 八 五 二 〇 五 八 七 七 一 〇 七 八

兄弟	天皇	明治天皇
	卷	二四
	頁	六八二
	行	八

同	同	同	後醍醐天皇	後水尾天皇
四	四	四	二一	一八
五二一	五二一	五二一	三三八	二〇五
二	三	四	四	八

同	同	同	明	靈	後	後	同	崇	村	天	文
			治	元	醞	嵯	德	上		皇	
			天	天	天	天	天	天	天		
			皇	皇	皇	皇	皇	皇	皇		
											卷
二四	二四	二四	二四	二二	一一	八	二	二	二		
											頁
六七六	六七六	六七三	六七三	二二七	三一五	四二五	二二〇	二二五	一一一		
											行
八	七	三	二	九	二	一	八	三	二		

					同	明	後	後	天	朋 友	
						治	水	鳥	皇		
						天	尾	羽			
						皇	天	天			
											卷
					二四	二四	一八	四			
											頁
					六六五	六六五	二〇六	五二二			
											行
					八	七	一	二			

同 崇 鳥 同 同 同 同 同 華 仁	天	釋 教
德 羽	山 明	
天 天	天 天	
皇 皇	皇 皇	
二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	卷	
二二 二二 二〇三 一七〇 一六九 一六九 一六〇 一五三 一五一 九三	頁	
一〇 八 六 九 九 七 四 六 七 一	行	

同 同

		二四 二四
		六七三 六六七
		一〇 四

同 同 同 後 土 同 同 同 同 後 同 近 同

嗟 御 鳥 衛
峨 門 羽 天
天 天 天 皇
皇 皇 皇 皇

八 八 八 八 五 三 三 三 三 三 二 二 二

四二一 四二一 四二〇 四二〇 七五 二七七 二七七 二七七 二七六 二七六 二三六 二三六 二二七

五 一 〇 八 八 五 三 一 〇 八 九 六 八

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二

二二七 二二五 二二三 二二一 二二一 二二一 二二〇 二二〇 二一九 二一九 二二三 二二三 二二三

六 八 一 〇 八 六 三 一 四 二 五 三 一

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 後

宇
多
天
皇

九 九 九 九 九 九 九 九 九 九 九 九 九

三九 三八 三七 三一 三〇 三〇 三〇 三〇 三〇 二六 二〇 二〇 一八

二 一 〇 一 一 九 七 五 三 一 四 二 〇

同 同 同 龜 同 同 同 同 同 同 同 同 同

山
天
皇

八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八

五一六 五〇四 四八三 四七五 四四五 四四二 四四一 四三六 四三一 四三一 四二九 四二八 四二八

四 二 四 三 〇 四 二 四 三 一 二 一 九

同	同	後	同	後	同	光	同	後	同	同	同	同
		柏		土		嚴		龜				
		原		御		天		山				
		天		門		皇		天				
		皇		天皇		皇		皇				

一四 一四 一四 二二 二二 二二 二二 二二 二二 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

二二五 二二五 二二五 五六二 五五五 四二一 四一六 三七四 三七四 二九四 二九四 二九三 二九三

一〇 八 六 〇 四 二 七 〇 九 三 一 〇 六

同	同	同	花	同	後	同	後	同	伏	同	同	同
			園		二		伏		見			
			天		條		見		天			
			皇		天皇		天皇		皇			

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 九 九 九 九 九

二九三 二九三 二九二 二八三 二二九 二二九 一八六 一六八 一一六 一一六 四六 四三 三九

四 二 一 八 九 八 九 四 八 六 九 一 四

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二三
七	五	四	三	二	一	〇	九	七	五	三	二	一

後	同	同	後	同	同	同	同	同	同	同	同	同
水			陽									
尾			成									
天			天									
皇			皇									
一八	一六	一六	一六	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
二二三	五二〇	五二〇	五二〇	四三三	四三三	四〇三	四〇三	三九八	三九八	三八〇	三四三	二三九
一〇	七	五	三	九	八	九	八	〇	八	七	二	四

後鳥羽天皇	同	崇德天皇	同	三條天皇	同	一條天皇	同	同	華山天皇	天皇	述懷
										皇	
										卷	
										頁	
三	二	二	二	二	二	二	二	二	二		行
三七六	二二三	二二三	一七八	一七七	一七五	一七四	一六九	一五一	一五〇		
一〇	八	七	一	六	八	三	三	二	八		

靈元天皇	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	索引
三	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	行
二二七	二二七	二二七	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二五	二二五	
一〇	九	一	〇	八	七	五	四	二	一	九	

同 順 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

德
天
皇

六 六 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五

一七
一 二 九
一 一 四
七 五
三 二
四 三 三 三 二 二 二 二

三 七 六 〇 四 一 九 六 三 一 八 五 二

同 土 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

御
門
天
皇

五 五 四 四 四 四 四 四 四 三 三 三

一 一 五〇四 四二五 四二五 三九九 三九九 三九九 三九九 三七七 三七七 三七六

一〇 四 一 五 三 〇 九 八 七 六 一 一 一

後	同	同	後	同	同	伏	同	後	同	同	同	同
二			伏			見		宇				
條			見			天		多				
天			天			皇		天				
皇			皇			皇		皇				

〇 〇 〇 〇 九 九 九 九 九 八 八 八 八

二二八 一九一 一七七 一六八 一二三 一一六 一一五 二二 一八 五一七 五二二 四八二 四八〇

一 一 五 六 二 一 一 〇 一 六 四 六 二 三

龜	同	同	同	後	後	同	同	同	同	同	同	同
山				嗟	堀							
天				峨	河							
皇				天	天							
				皇	皇							

八 八 八 八 八 八 七 七 六 六 六 六 六

四七四 四三四 四二四 四一一 四一〇 三七六 二八六 二七七 一九八 一九二 一八二 一八二 一八二

六 一 八 一 〇 一 四 〇 一 五 八 七 六

同 同 光 同 後 同 同 後 同 同 同 同 同

巖 龜 村
天 山 上
皇 天 天
皇 皇 皇

二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二

四〇七 四〇七 三九五 三七八 三七八 三六三 三六〇 三五九 三四二 三四二 三四一 三四一 三四一

二 一 一 七 五 五 四 五 九 二 〇 四 二

同 同 同 同 同 同 同 同 後 同 同 花 同

醍 園
醐 天
天 皇
皇

二 二 二 二 二 二 二 二 二 〇 〇 〇 〇

三四〇 三四〇 三四〇 三三九 三三九 三三八 三三八 三三八 三二五 二八二 二八二 二八二 二二九

七 三 二 五 二 〇 七 六 五 九 七 六 一

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

索引

一五 一五 一五 一五 一五 一五 一五 一四 一四 一四 一四 一四

三九七 三九七 三九七 三八〇 三三五 二五七 二三八 二三八 二二一 二二一 二二一 二一〇 二一〇

四十七

一一 九 七 三 三 七 七 五 五 四 二 一 〇

同 同 同 後 同 同 後 同 後 同 後 後 崇
柏 土 花 小 光 光
原 御 園 松 嚴 天
天 門 天 天 天 天
皇 天 皇 皇 皇 皇 皇

索引

一四 一四 一四 一四 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二

二一〇 二一〇 二一〇 二一〇 五六〇 五五四 五三七 五二七 五一一 四八五 四七九 四五三 四三二

四十六

九 八 七 六 四 九 三 九 一 〇 六 五 七

靈 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

元

天

皇

二二 一八 一八 一八 一八 一八 一八 一八 一八 一八 一八 一八

二〇八 二二一 一八三 一八三 一八三 一八三 一八二 一八二 一八二 一八二 一八二 一八二

七 五 六 四 三 一 一 九 八 六 四 三 一

後 同 同 後 正 同 後 同 同 同 同 同 同

水

尾

天

皇

陽 親 奈

成 町 良

天 天 天

皇 皇 皇

一八 一六 一六 一六 一六 一六 一六 一五 一五 一五 一五 一五

一八一 五一九 五一九 五一九 五〇五 四八六 四七三 四四四 四三五 四二一 四一〇 四〇四 三九八

一 一 〇 八 六 三 五 六 九 〇 七 六 一 二

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

索
引

☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰

四一〇 四一〇 四一〇 四〇九 四〇九 四〇九 四〇九 四〇九 四〇九 四〇九 二一〇 二一〇

五十一

六 四 二 一 九 七 六 五 四 三 二 九 八

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

索
引

☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰ ☰

二一〇 二一〇 二一〇 二一〇 二〇九 二〇九 二〇九 二〇九 二〇九 二〇九 二〇八 二〇八 二〇八

五十

六 五 三 一 一 九 七 五 三 一 〇 九 八

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 明 同 同

治
天
皇

二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二三 二三

六八一 六八〇 六八〇 六八〇 六八〇 六八〇 六八〇 六八〇 六八〇 六八〇 六八〇 六〇三 六〇二

二 一 九 八 七 六 五 四 三 二 一 九 六

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 孝

明
天
皇

二三 二三 二三 二三 二三 二三 二三 二三 二三 二三 二三 二三 二三

六〇一 六〇〇 五八九 五八九 五八七 五八七 五八六 五八五 五八三 五八一 五八〇 五七七 五七二

三 七 四 一 五 二 一 三 三 四 三 二 九

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

索
引

二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四

六八七 六八七 六八七 六八七 六八七 六八七 六八七 六八六 六八六 六八六 六八六 六八六 六八六

五十五

七 六 五 四 三 二 一 一 〇 九 八 七 五

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

索
引

二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四

六八六 六八六 六八六 六八六 六八二 六八二 六八二 六八一 六八一 六八一 六八一 六八一

五十四

四 三 二 一 六 四 二 一 九 七 六 五 四

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

乘
引

二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四

六九一 六九一 六九一 六九一 六九一 六九〇 六九〇 六九〇 六九〇 六九〇

六 五 四 二 一 〇 九 七 六 四

五十七

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

乘
引

二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四

六八八 六八八 六八八 六八八 六八八 六八八 六八八 六八七 六八七 六八七 六八七 六八七

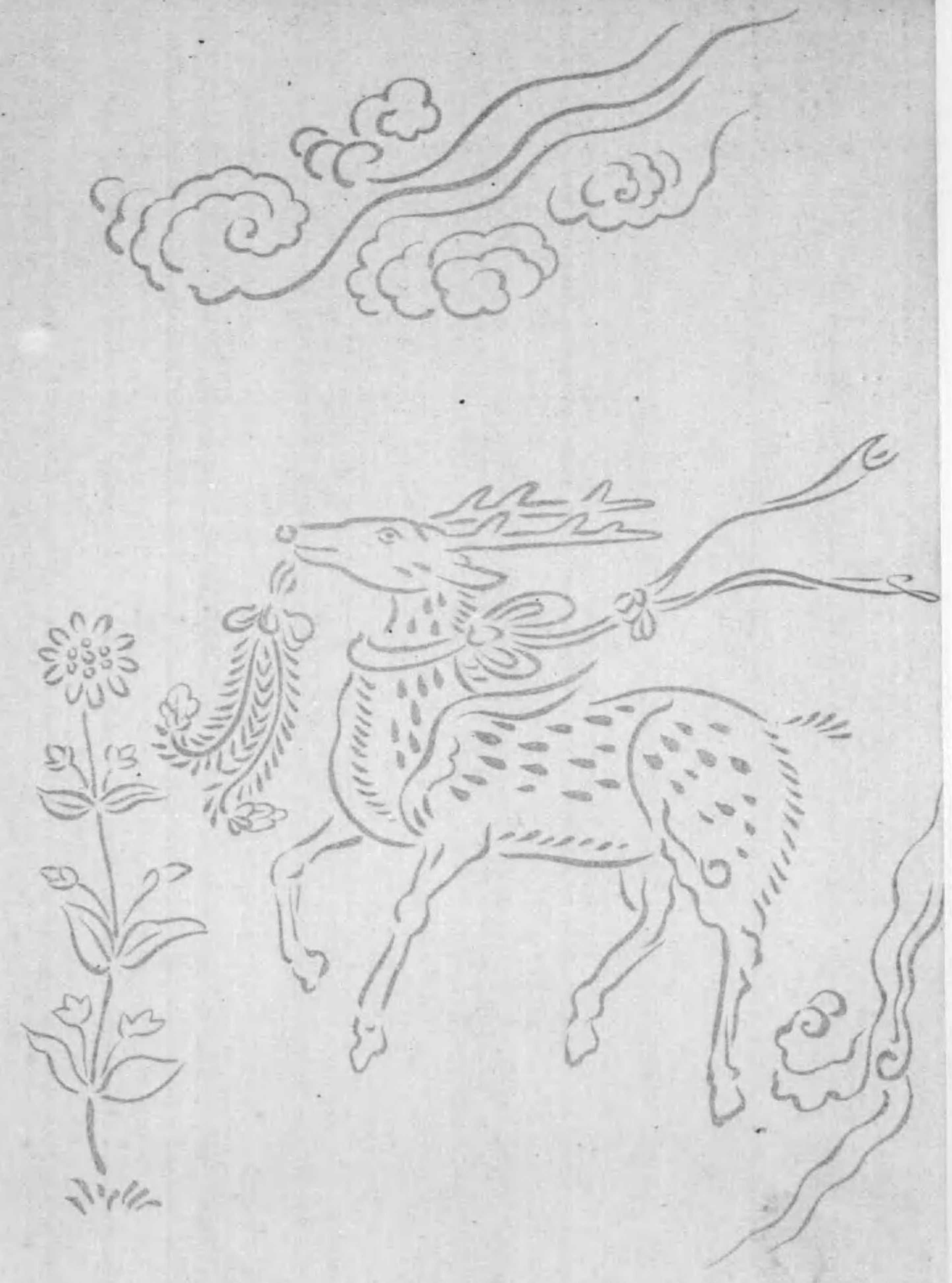
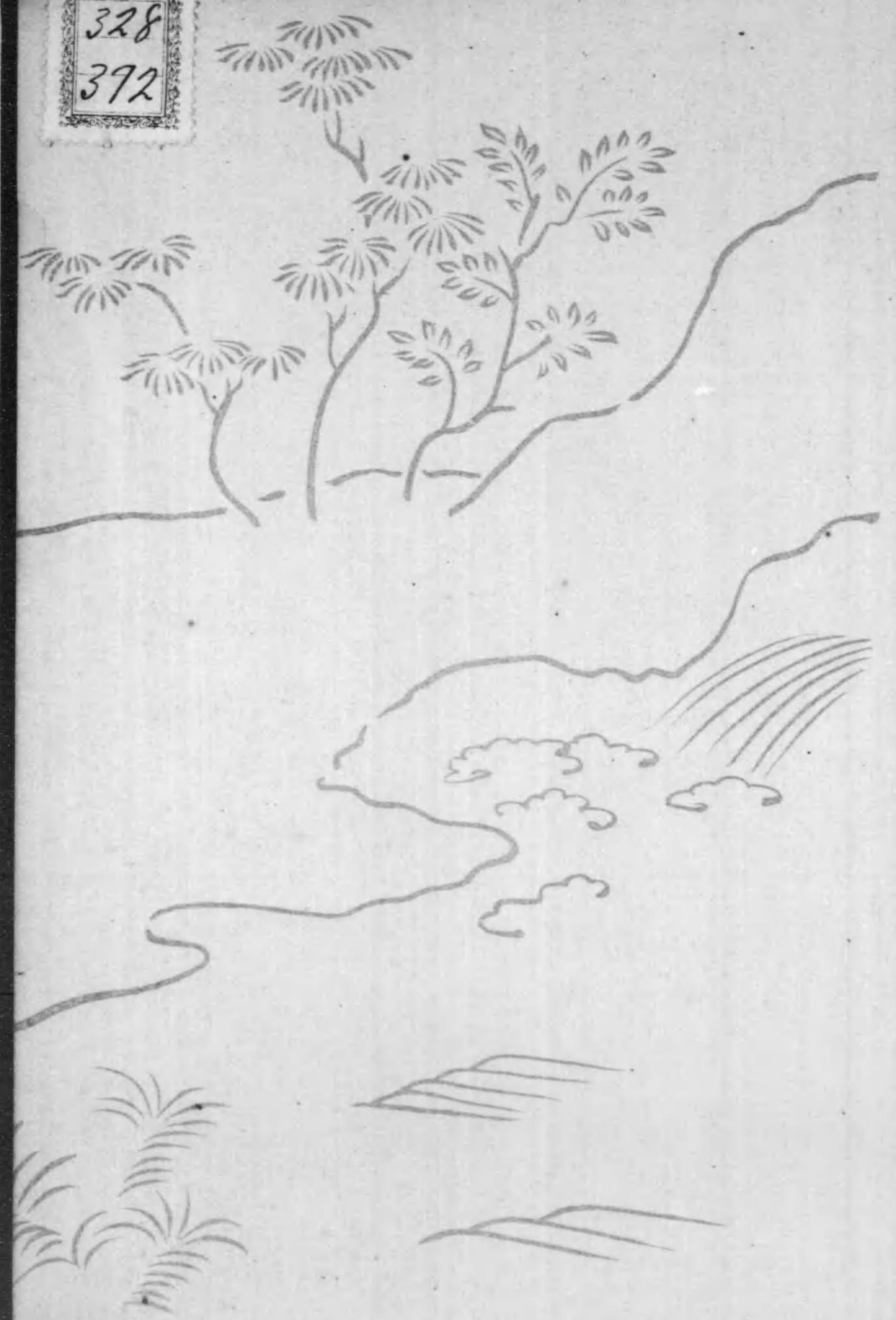
九 八 七 六 五 四 三 二 一 一 〇 九 八

五十六

索
引

五十八

328
392



終